



加古だより

加古小学校通信
令和6年3月号
No.48 (364号)

「感謝がいっぱい！ありがとう集会」

校長 吉田 博明

<それぞれの学年からの贈り物>

7日の2時間目、6年生への「ありがとう集会」が行われました。計画・集会委員会の5年生の人たちが中心となって、各学年からの出し物やゲームを考えてくれました。1年生を抱っこして移動させるゲームやジャンケン列車、大縄を6年生と一緒に跳んだり借り物競争をしたりと、それぞれの学年なりに、6年生に感謝の思いを伝えました。計画・集会委員会からの6年生へのインタビューや「猛獣狩りに行こうゲーム」も大盛り上がり。最後には、1～5年生全員での歌や手紙のプレゼントもありました。退場の時には紙吹雪も舞う中、みんなの拍手で送られました。



<6年生にしかわからない価値>

コロナ禍の中、こんな対面での集会はなかなかできませんでした。少し時間はオーバーしてしまっただけで、それはこれからに向けての良い課題だなと思います。こういう、みんなで行事を創り上げるという経験が必要なのだと、改めて思います。このありがとう集会の間、6年生の人たちがとても良い表情をしていたのが印象的でした。このありがとう集会、その価値を感じられるのは6年生だけなのです。これまで何回も6年生の担任をし、その集会の後の6年生を見てきました。その表情はとても幸せそうで、何とも言えない良い表情をしています。一番近いのは、子どもからプレゼントをもらった親の感覚でしょうか。6年生も、とても楽しかったと答えてくれました。たくさんの感謝を胸に、あと少しの小学校生活で最高学年としての見本の姿を見せ続けてほしいなと思います。

<これからも「One team KAKO」>

チーム担任制論文の最優秀賞を記念して、全校生に3色ボールペンを配りました。またお家で使ってもらえると嬉しいです。替え芯は、ボールペンもシャープペンシルも真ん中から開けて、芯を抜くと替えることができます。(替え芯も販売されています) たくさんの人からお礼を言ってもらいました。でも頑張ったのは、児童のみなさんや先生たち。私の方こそ、みなさんにありがとうございます。せっかくの記念なので、長く使ってくださいね。

